



山紫水明の都 結び合う心 東山の未来

2020(平成32)年度を目標年次とした、今後の東山区のまちづくりの指針として「東山・まち・みらい計画 2020」を策定しました。

計画の目的

「東山・まち・みらい計画 2020」は、恵まれた自然環境や質の高い伝統文化など、東山区の個性と魅力を最大限に生かしながら、人口減少や少子高齢化、住環境問題、観光シーズンの深刻な交通渋滞など、東山区が抱えているさまざまな課題に的確に対応し、新たな時代にふさわしいまちの未来像とそれを実現するために進むべきまちづくりの方向を示す計画です。

「山紫水明の都 結び合う心 東山の未来」をまちづくりのキャッチフレーズに掲げ、区民、地域、事業者、行政がこの計画を基本に、知恵と力を合わせて、協働で東山区のまちづくりを進めることを目的としています。

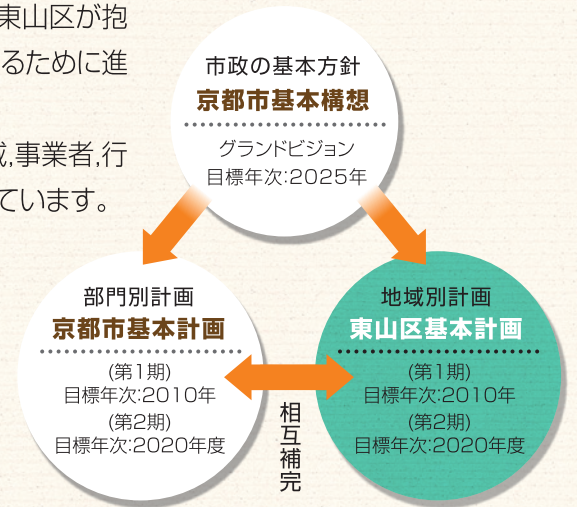
計画の概要

◆計画の期間

平成23(2011)年度から平成32(2020)年度までの10年間

◆計画の位置付けと方向性

- 京都市基本構想に基づく区の第2期の基本計画
- 区民と地域、事業者、行政が共感・共有し、協働で推進する計画
- 社会経済情勢や区民ニーズを的確にとらえ、個性を最大限に生かした全国でも先進的な計画



計画の策定経過

計画の策定に当たっては、すべての学区に設置された延べ56回にも及ぶ「住民円卓会議」でのご意見を尊重し、区民の代表や有識者で構成する「東山区基本計画策定委員会」(座長:山折哲雄氏 平成21年7月設置)で協議を重ねるとともに、「東山区基本計画策定に向けた区民アンケート調査」や、区内の小学生や若い世代を対象としたワークショップの開催など、あらゆる機会をとらえて区民の皆さんからご意見、ご提案をいただき、これを最大限に取り入れ、検討を進めてきました。

今後、区民の皆さんと行政との力強いパートナーシップにより、計画を着実に推進し、東山区にかかわるすべての人が幸せを実感できる東山区を築いてまいりましょう。

東山区はこんなまちづくりを目指します

未来像とまちづくりの方針

4つの未来像とその実現に向けたまちづくりの方針を掲げ、特に優先的に取り組む重点プロジェクトを積極的に進めていきます。

未来像 1

緑と清流、風情ある町並みが、
心にも環境にもやさしいまち・東山

まちづくり方針

木と水の
文化の推進



町並みや歴史ある寺院・神社と自然との調和、古くから伝わる暮らしの文化を守るため、区民の知恵と行動で、「木と水の文化」を推進します。

自然と共に生きて
豊かに暮らす
自然で紡ぐ
文化再生
プロジェクト

実現のために 重点 1

未来像 2

ゆっくりした時間と奥深く魅力のある
空間が広がり、五感が洗練されるまち・東山

まちづくり方針

クルマ依存型
社会からの脱却



来訪者はゆっくりと歩いて東山区の魅力を堪能し、区民は過度なクルマの利用を抑制するなど、だれもが「かしこいクルマの使い方」を考え、東山区の快適な過ごし方を実践し、「五感で楽しむまち」を目指します。

東山区の魅力を
歩くことでもっと感じる
歩いて楽しい
東山
プロジェクト

実現のために 重点 2

未来像 3

地場産業が元気で、
人のにぎわいがあふれるまち・東山

まちづくり方針

経済活動と
市民生活の調和



区内の伝承すべき「匠の技」と「区民の知恵」を次世代へ確実につなぎ、東山を愛する人々を味方に付けて、文化の更なる発展とまちの活性化を目指し、挑戦します。

受け継ぐ“こころ”で
まちがにぎわう
ほんもの
産業のまち
プロジェクト

実現のために 重点 3

未来像 4

世代を超えて互いを認め合い、
支え合うまち・東山

まちづくり方針

多世代共助
社会の実現



区民の高い住民自治の精神と強い絆で、人口減少や少子高齢化などの社会の変化に対応するまちづくりを進め、区民が主役のまちをつくります。

まちと人を育み、
みんながいそいそ
東山
「育まち」
プロジェクト

実現のために 重点 4

今後10年間に進める施策と取組

計画の実現に向けて、区民の皆さんの声(学区住民円卓会議の意見など)を踏まえ、4つの未来像を「自然環境」「産業・観光」「保健・福祉・教育」「景観・都市基盤」「コミュニティ・自治」の5分野に分類し、分野ごとに目標を定めて、今後10年間に進める施策と取組項目を掲げました。

区民と地域、事業者、行政とが、それぞれのもてる“知恵”と“力”を存分に発揮し、創意工夫を凝らして協働で取り組んでいきます。

施 策		取 組 項 目	
自然環境	1 環境にやさしい「東山流ライフスタイル」の推進	1 シニア世代から子どもたちに伝える「しまつの知恵」環境学習の推進	
	2 次世代へ豊かな自然や里山を引き継ぐ取組の普及	2 地域で進める「ごみダイエット」事業の実施	
	3 自然に親しみ環境に負荷をかけない観光の推進	3 自然の美しさを感じ、心を豊かにする「エコ講話(仮称)」などの実施	
	4 区民も来訪者も心安らぐ、美しいまちづくり	4 「スローライフを楽しむプロジェクト(仮称)」の創設	
産業・観光	5 東山の個性を生かした新産業の創出	5 カーシェアリングの普及・促進	
	6 地域の個性を生かした新たな地域活性化策の展開	6 公共交通の利用促進・積極的な利用	
	7 確かな技と新たな感性の融合による伝統産業の活性化	7 東山の自然を守り育てる森林整備	重点1
	8 魅力とにぎわいのある商店・商店街づくり	8 「森の力」を活用した自然環境教育の充実	
	9 東山の自然や文化を堪能し、ゆったりと過ごす観光の推進	9 鴨川や白川の環境保全	
		10 公共交通の利便性の向上	重点2
		11 東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進	重点2
		12 町並み景観に配慮した観光案内標識の整備	
		13 豊かな自然や伝統産業を堪能できる散策体験コースの設定	重点2
		14 区民、事業者、来訪者がマナーを守り、散乱ごみのない美しいまちづくり	
保健・福祉・教育	10 子どもたちが個性を生かし、いきいきと育つ環境の充実	15 身近な「みどり」を増やす運動の推進	
	11 若い世代が住みやすく、子育てしやすい環境づくり	16 門掃きや打ち水などの習慣の普及・促進	
	12 高齢者や障害のあるひとが生きがいをもっていきいきと暮らせる環境づくり	17 東山食文化の普及・促進	重点3
	13 地域医療の充実による健康づくりの支援	18 環境に配慮した観光産業の促進	
		19 情報・通信技術を活用した新産業の創出	
		20 地域の活性化を図るための学校跡地等の活用検討	
		21 伝統産業と先端産業の技術融合による新産業・新商品開発の促進	重点3
		22 「手しごと」産業の新たなビジネス展開の支援	重点3
		23 伝統産業の魅力の全国への発信	
		24 高齢者や障害のあるひとへの宅配サービス等の促進	
		25 空き店舗を活用した「商い人」の育成	重点3
		26 大学等との連携による個性ある商店街づくり	
		27 暮らしに息づく「ほんもの」体験や、雅やかな「ほんもの」を堪能する滞在型観光メニューの創設	重点3
		28 だれもが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進	
		29 東山観光大使による東山の文化や暮らしのPR	
		30 小中高校生の来訪者への「おもてなしの心」教育の充実	
		31 小中一貫教育の推進と教育活動の充実	
		32 世代間交流を取り入れて地域の子どもたちを育む取組の推進	
		33 子どものコミュニケーションの場、体づくりの場となる公園や広場の拡充	
		34 地域に根差した子育てネットワークの拡充と子ども・子育て情報の充実	重点4
		35 就労と子育てが両立できる生活への支援	
		36 子育てに喜びを感じ、親も共に育ち学べる取組の推進	重点4
		37 空き家等を活用した子育て世代の住環境整備	
		38 介護予防活動の充実	
		39 高齢者の多様な能力を生かした「東山シニアお助け隊(仮称)」の創設	重点4
		40 高齢者の身近な集いの場の整備	
		41 福祉ボランティアの育成と地域で支え合える体制づくりの推進	重点4
		42 地域の保健・医療機関の連携強化	
		43 健康づくり活動への支援	
		44 「年に1度は自分の体を知る」取組の推進	



施 策

取 組 項 目

景観・都市基盤 目標 安全で快適な 都市づくり	14 空家ゼロのまちづくりの推進	45 空き家の流通システムの構築	
	15 木造文化を守り、災害に強いまちづくり	46 空き家を増やさないための取組の推進	重点1
	16 情緒豊かな町並み景観と路地文化の保存と創造	47 空き家の建替え,古い木造住宅の防火や耐震強化のための住宅改修支援	重点1
	17 歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路づくり	48 木造文化を守るための建築基準法等の改正に向けた取組	重点1
	18 だれもが支障なく活動できる生活環境の整備	49 地域の自主防災活動の推進	
		50 区民の自主的な景観づくり活動への支援	
コミュニティ・自治 目標 地域力の向上	19 活発な世代間交流とお互いに認め合い支え合う風土づくり	51 地域コミュニティの場となる路地,袋路の再生	重点1
	20 学区ぐるみで考える「わがまちづくり」の推進	52 安全,快適に通行できる道路空間の整備	重点2
	21 地域と大学などの主体との連携強化	53 自転車利用マナー・ルールの啓発活動の強化	
	22 新しい地域自治を推進するネットワーク化の促進	54 放置自転車をなくすための取組の強化	
	23 区民に身近な区役所づくり	55 ユニバーサルデザインに基づく公共施設や駅,道路などの整備の推進	重点2
		56 世代間交流ネットワークづくりの促進	重点4
		57 人権文化が息づくまちづくりの推進	
		58 学区の将来像やまちづくりの取組の明確化と共有化	
		59 学区の行事や地域活動の住民間での情報共有の強化	
		60 自治会等自治組織への住民の参画の促進	
		61 地域とマンション等の集合住宅の住民との交流の促進	
		62 地域と大学などとの連携を促進する仕組みづくり	
		63 大学や企業との災害時の協力体制の強化	
		64 地域の活性化のための自治組織の拡充	
		65 若者によるまちづくり会議の設置	
		66 関係機関相互の連携を強化し,地域の特色に合わせた施策の推進	
		67 インターネットなど,多様な手段を効果的に活用した区政情報の発信	
		68 区役所窓口サービスの向上	
		69 区民の交流機会の拡充	



東山・まち・みらい計画 2020

冊子をご覧ください

計画を豊富なイラストと写真の構成で分かりやすく紹介する冊子(A4判カラー44ページ)を作成しました。
東山区のさまざまなデータや,区民,地域,事業者,行政の具体的な取組事例も盛り込んでいます。

配布先 区役所まちづくり推進課(東山区総合庁舎北館2階)

郵送ご希望の方は,返信用切手240円分を同封のうえ,〒・住所・氏名・電話番号を書いて,

〒605-8511 東山区役所まちづくり推進課「計画」担当まで,お申し込みください。

区役所ホームページをご覧ください

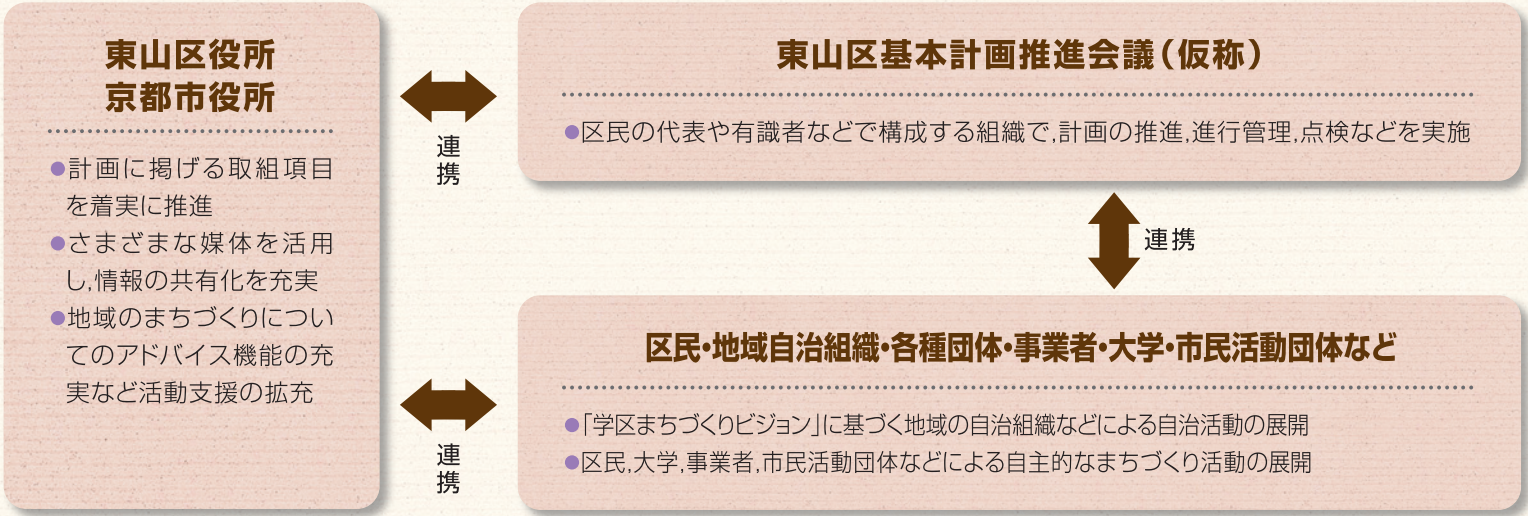
計画の概要版と冊子は,区役所ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/higasiyama/>)にも掲載しています。どうぞご覧ください。



計画の実現に向けて

「東山・まち・みらい計画 2020」の実現のためには、区民、地域、事業者、行政がそれぞれの役割の下に協働し、さまざまな課題の解決に向けて、共に考え、知恵と力を合わせてまちづくりを進めることが大切です。

そのため、計画の推進システムとして、区民の代表や有識者などで構成する「東山区基本計画推進会議（仮称）」を設置し、区民や地域、事業者、行政が、共に目指す目標や成果について、定期的に、「計画」、「実行」、「点検」、「見直し」のサイクルを繰り返しながら、着実に取組を進めます。



東山からのメッセージ ～山紫水明の都 結び合う心 東山の未来～

紫にかすむ東山の峰々と清らかな鴨川の流れ——「山紫水明」

頼山陽のこの言葉は京都の美しさをよく表しており、私の好きな言葉の一つだ。

東山区は、東山連峰と鴨川の間に位置し、その風光明媚なまちと歴史を訪ねて今も昔も多くの人が行き交う。人口4万人ほどのこのまちは、伝統ある文化や産業、世界文化遺産の清水寺をはじめとする多くの寺社や文化財、そして、美しく豊かな自然に恵まれ、京都の良さを凝縮したまちとも言える。

一方、東山区では、少子高齢化が顕著に進んでおり、細い街路や坂道が多い地形的な特徴もあって、高齢者の安心安全な暮らしに関する問題をはじめ、まちや産業を支える次世代、後継者の問題、20パーセントもある空き家の問題など、日本の多くのまちが今後直面する課題を一步先に、また、集中的に抱えているまちでもある。

このまちの奥深い魅力と多岐にわたる課題を見据えたうえで、10年後の東山区の姿に思いを馳せ、創造的かつ大胆に提言していくこと——、東山区基本計画策定委員会ではこのことを何より大切だと考え、一昨年8月から計画の素案づくりに取り組んだ。そして、学区ごとの住民円卓会議で熱心な話し合いが持たれ、広く区民の方からもご意見をいただき、熟慮と検討を重ね内容を絞り込んで、出来上がったのがこの「東山・まち・みらい計画 2020」である。

この計画は、計画ではあるが、同時に現在に生きる私たちから10年後の私たち自身へのメッセージでもある。現代社会が抱える様々な課題に真っ先に直面している東山区が、これから先、何に向かってどう取り組もうとしているのか、東山区に暮らす人々はもとより、他のまちの方々、国政にかかわる方々にも知っていただきたい。そして、共に考えていただきたい、と切に願っている。例えば、古い木造の町並みや地域の文化を育む路地の保存は建築関係法令とどのように折り合えるようにしたら良いのか、また、多くの寺社や文化財とともに生きるまちの苦悩についてもさらに考えていきたい。東山区を考えることは、この国の在りようを考えることでもあると信じているのである。

こうして、新しい東山区基本計画は、いよいよ実行の段階に移ることになる。

「山紫水明のまち東山」は、これまで千年の時間が綾なす縦のつながりと東山区民の横につながる結びつきの中で、独特の文化や産業を育み、しなやかにまちの礎を築いてきたのであるが、それを変えることなく支えてきたのは、このまちに暮らす誇りある一人ひとりの民の力なのである。

東山区民は、その伝統に改めて誇りを持ち、心を結び合って、東山の未来に向かって新たな10年を踏み出すことになる。

平成23年1月

東山区基本計画策定委員会 座長 山折哲雄

●東山区基本計画策定委員会委員名簿（敬称略・五十音順）

井上えり子 …… 京都女子大学家政学部准教授【副座長】

太田 雅 人 …… 市民公募委員

奥 村 幸 一 …… 元東山区市政協力委員連絡協議会南ブロック代表

加 藤 雅 也 …… 東山区体育振興会連合会会長

河 井 透 …… 京都陶磁器協同組合連合会会長

木 村 信 夫 …… 東山区社会福祉協議会会長

杉浦貴久造 …… 東山区交通安全対策協議会会長

高 橋 実 沙 …… 市民公募委員

本 部 正 一 …… 社団法人京都市観光協会事務局長

前 田 新 次 …… 東山区シニアクラブ連合会会長

牧 紀 男 …… 京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授

松 永 洋 子 …… 東山区民生児童委員会会長

南 悠 子 …… 市民公募委員

村 岡 省 子 …… 元京都市立中学校PTA連絡協議会理事

本政八重子 …… 東山区地域女性連合会会長

山 折 哲 雄 …… 宗教学者【座長】

